

交流のひろば

古い前橋市内の風景写真をお持ちの人は、市役所広報広聴課 890-6642へお願いします。

おたより コーナー

市民号で鎌倉へ

歴史に触れる

上増田町 奈良 孝美 47

「市民号」で、家族で鎌倉方面に行きました。今回初めて応募しましたが、五百人という大勢が参加し、九両編成の貸し切り電車は満員でした。大仏コースで最初に訪ねたのが稲村ヶ崎。新田義貞が攻め寄った場所と聞き、上州に縁の深い名所だと知

まちのニュース NEWS

3自治会集い 無病息災祈る

力丸町

四月二日に力丸町の飯玉神社で春の祭典が行われました。この行事は「三丸」と呼ばれている力丸町、徳丸町、房丸町の三町が合同で毎年実施しています。

この祭りは、明治四十三年に三町にあった神社が統合したのをき

りました。長谷寺では、高さ九・一八の長谷観音の大きさにびっくり。木像文化財では日本最大とのこと。十一面観音は、前と左右の各三面、後ろと頂上の各一面に顔があり、それぞれ違った表情。これは、いろいろな人の願いを聞き、救うことを表しているそうです。最後の見学地は高德院で、前橋から来たわたしたちを、大仏様が首を長くして待っていてくれたかのようでした。

帰途に就く電車を待つ人が集まった鎌倉駅周辺では、参加者の目印のリボンを付けた人でいっぱい。あたくもそこが、前橋駅であるかのような光景でした。

初春の古都鎌倉の旅に参加して、これを機会に、これからは前橋の歴史にも興味を持ちたいと思いました。

つかけに、合同で行うようになったといわれています。それぞれの町の自治会長が、五穀豊穡と無病息災を願ってもちと酒を神社へ奉納。もちは各町の住民にも配られました。今年と同神社が改修されたこともあり、参加した人たちは地域発展の願いを新たにしています。

力丸町の小島章自治会長は「三町は昔から合同でさまざまな行事をしています。そうすることで住民の交流が図られ、町同士のつながりも深まりますね。三つの町が力を合わせて地域を活性化させたいです」と話していました。



まえばしの今と昔

県内最初の

アーケード

立川町通り



昭和四十五年当時の立川町通りです（写真上、写真下は現在）。この通りは県道大間々・桐生線の国道17号から広瀬川までの三百七十五。沿道には、立川町大通り商店街があり、県内最初のアーケードが設置されるなど、環境整備が活発に行われました。

【写真提供・島田幸一さん】